

かわら版

発行 森藤右衛門を顕彰する会
 代表 関口修
 事務局 樋口信義
 酒田市東栄町二二一
 (電) 二八一八〇七九

森藤右衛門生誕
 一七〇年の年、
 菩提寺において
 顕彰法要を営む

要法彰顯門衛藤森

6月13日大信寺本堂・墓前

祭文

祭文

維時明治三十一年八月七日飽海民黨総代
 松本謙吉等檢査再并謹致森藤右衛門
 君之靈云々
 顧ハ過去三十年來藩閥ノ積弊ヲ機軸トシ
 國政日ニ衰、有司朝立ニテ權ヲ握ルモノ
 國民休戚ヲ顧ミ専横日ニ甚クシテ四十万同
 胞ハ未ダ蠢々トシテ命ヲ君相一人ノ手ニ批セリ
 嗚呼此ノ時於テカ奮然身ヲ注内ノ草莽ニ起シ
 下ノ聲ヲ河漢ニノミテ
 鳥行帝國憲政ノ由來ヲ探究セン、欲スルニ先
 員トシテ國家ノ爲メ信々盡力シテ、
 此ノ不肖等相援ヘテ、君カ墓前ニ告白スル
 茲ニ不肖等相援ヘテ、君カ墓前ニ告白スル
 英靈彰分幣トシテ來饗ケテ、
 飽海民黨総代
 松本謙吉

「祭文」は読み上げられた
 没後十三年の明治31年8月7日に読み上げられた「祭文」
 妻と父の生家である羽黒手向の芳賀家に保管されていた

日時 六月十三日(水)
 午後一時半
 場所 酒田市寿町
 「大信寺」
 法要次第
 入堂 鐘
 表白 堂
 祭文 堂
 おつとめ(焼香)
 退堂
 講話
 挨拶
 墓前読経
 献句
 墓参
 茶話会

明治三十一年の祭文を奉読

当日は法要参加者の前で明治の祭文が奉読されます。この祭文(写真)は、藤右衛門の妻鐵代の生家、手向の芳賀七右衛門家の位牌の下から発見されたもので、今年の春にワッパ騒動

明治二十四年七月十五日付の「山形自由新聞」は、東北遊説の途次、七月十日に酒田入りした自由党総理板垣退助伯爵一行が、森藤右衛門の墓に詣でたことを、次のように報じました。
 故森藤右衛門の墓に参す
 夙に自由民権の説を唱道して我縣下寧ろ我東北地方人士の氣象を鼓舞したる故森藤右衛門氏の墓地は酒田

右藤森、伯垣板の墓に参す

田寺町大信寺に在ることなるが、今回板垣伯の一行が同地へ来遊ありし其序で伯は勿論(伯は目下微恙ある由なれば代参を立てらるゝやも知れず)氏が親衣なる河野廣中氏其他の一行及び酒田の有志が車を聯ねて墓参したる由、嗚呼森氏地下の感果して如何

「山形自由新聞」は酒田市の光丘文庫所蔵です。

森藤右衛門という人

米価高騰を利用して巨額の差益を得ていた。激怒した庄内一円の農民一万余人が酒田県庁へ押しかける騒ぎになったという。

森藤右衛門の先見の明は、延旗を立てての農民一揆を、中央の元老院や司法裁判所に訴える合法的な建白運動と裁判闘争に切り替えたことであった。78(明治11)年、鶴岡で開かれた臨時法廷で、ついに6万3千円の還付金支払いを認める判決を勝ち取ったのである。その後、本格的に自由民権運動を展開し、39歳で酒田戸長(市長)、42歳で県議會議員に当選するが、惜しくも44歳で急逝した。

気炎

明治維新の激動の中で、庄内の農民は戊辰戦争の後遺症や大凶作の中で苦しんでいた。「天狗騒動」に続く「ワッパ一揆」が起こったのは、74(明治7)年のこと。米の代わりにお金を納めてもよいという明治政府の布告にもかかわらず、酒田県当局はそれを農民に知らせず、従来通り米で納めさせ、

5月19日山形新聞のコラムに顕彰碑建立活動が紹介されました

ウィリアム・W・ケリー著
 「19世紀日本における権威への服従と反抗」の研究会を開催
 4/28ワッパ騒動義民顕彰会主催

ウィリアム・W・ケリー氏略歴
 1973(S48)京大の研究生として来日
 1975~山大農学部の研究室に入室
 その間、鶴岡市渡前に約2年間寄留後に、米エール大教授・人類学部長
 1985庄内地方を文化人類学的に調査分析した大著「19世紀日本における権威への服従と反抗」を刊行
 2009日本政府から旭日中授章を受賞
 今回の研究会には本会会員も多数参加し、来日を待つ声しきりでした。

川柳 工藤昌見

誤魔化しに平民の力廟を越し

顎鬚で憲政崩す拳かな

田螺より強固に動く藤右衛門

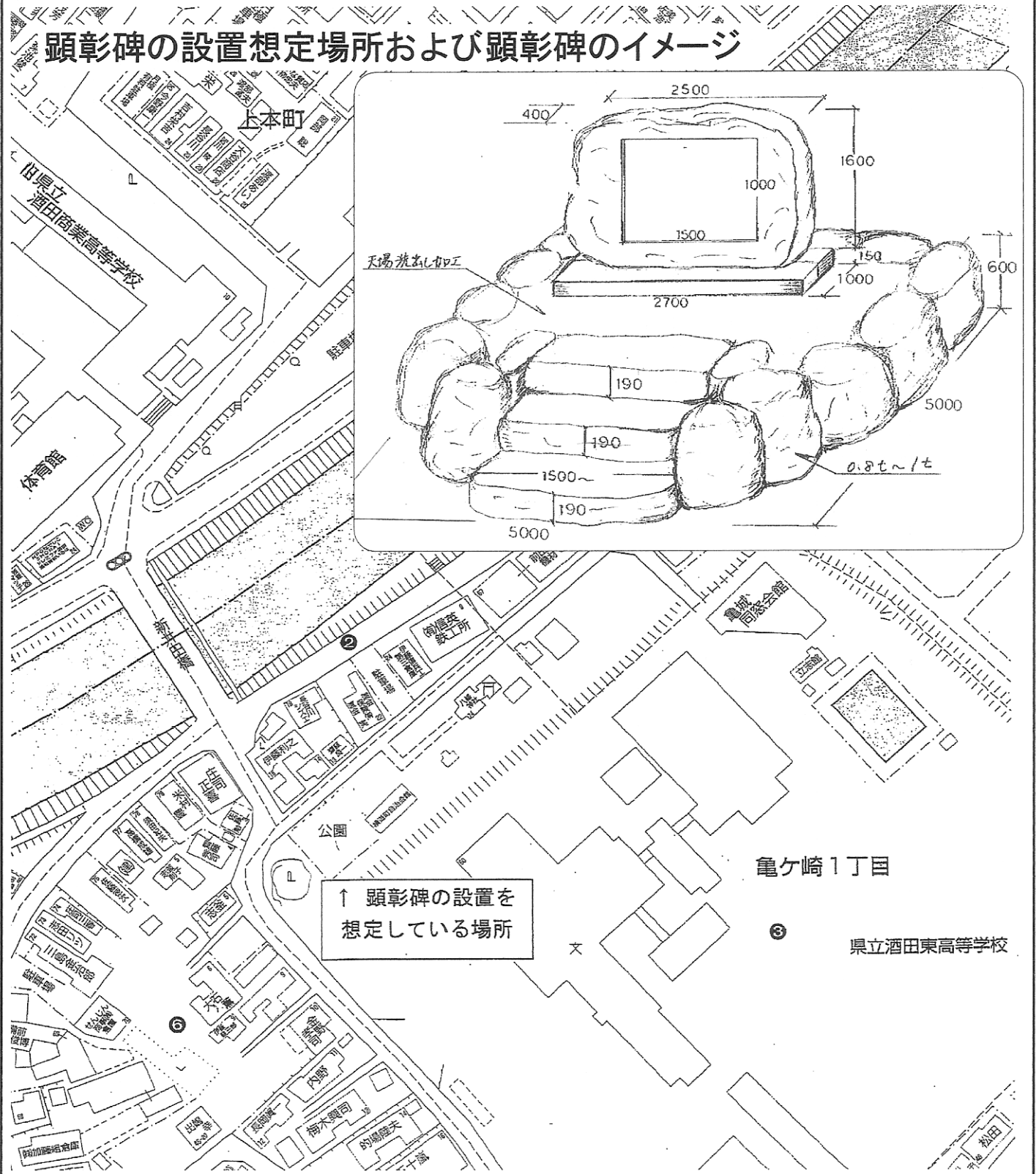
多くの皆様方にご理解とご尽力をいただき誠に有難うございます。

6月7日現在の会費・募金等の集約状況はつぎの通りです。

501名様から1,831,080円をお寄せいただきました。
(一人平均3,654円となります。尚、この他に「寄附金」を頂戴しております)

目標達成をめざし、更なるご尽力、ご協力を宜しくお願いいたします。

顕彰碑の設置想定場所および顕彰碑のイメージ



↑ 顕彰碑の設置を想定している場所

亀ヶ崎1丁目

県立酒田東高等学校